



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2012年6月号 No.324

小鳥の森で観察してみよう 14

サンコウチョウ

- 分 布 : カササギビタキ科
 大きさ : オス 44.5 cm
 メス 17.5 cm
 生 態 : 夏鳥として本州以南の低地から山地のよく茂った林に渡来する。さえずりは「月日星ホイホイホイ」と聞こえることから三光鳥(サンコウチョウ)と名前がついたと言われる。

小鳥の森での観察 :
 小鳥の森では5月の連休頃にやってきて、綺麗な声を聞くこともできます。

くちばしと目の周りが
 コバルトブルー

飛びながら虫をつかまえることから外国では「フライキャッチャー」という言葉が名前に入る。

オスの尾羽はとても長い

今回のイラストは木口幸音くんが描いてくれました



5月の自然

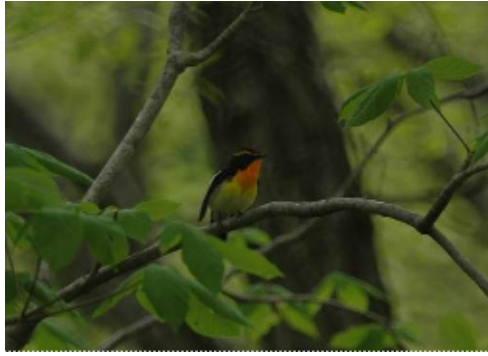
5月に入り遅れていた春の花もいっせいに咲いていました。

連休中は桜もきれいに咲き、スミシ、ニリンソウ、イカリソウ、チゴユリ、ヤマツツジなどが新緑の森を楽しませていました。また気温も暖かくなり、夏鳥のキビタキやオオルリ、サンコウチョウなどの声を聞くようになりました。

園内を歩くと展望台からは吾妻小富士の「ゆきうさぎ」も見ることができ、自然のアートも楽しめました。

時々ネイチャーセンターからホンドタヌキやリスの姿を見ることもありました。トンボやチョウなども飛び始め小鳥の森も夏の準備を始めているようでした。





イベントの報告（5月）

5月6日に行われたショートフィールドトリップ「キビタキの声を聞こう」では、新緑に包まれた小鳥の森できれいな歌声を聞くことができました。姿こそなかなか見ることができませんでしたが、キビタキだけでなく夏鳥の声を聞くこともでき、参加者も楽しんでいました。

6月予報

シジュウカラやヤマガラ、エナガなどのヒナも巣立ち、親子のすがたが小鳥の森でよく見られるかもしれません。

またセミの仲間も鳴き始める時期です。トンボやバッタ、甲虫類、チョウの仲間も色々出会う季節。散策する際には植物、鳥、虫、動物と探してみてください。また何かを見つけた際にはレンジャーにも教えてくださいね！



ヒナを拾わないで！

野鳥のヒナの多くは羽が生えそろうとすぐに巣立つため、上手に飛べないものもいます。でも飛べないヒナの近くには親が近くにおいて「飛びかた」や「エサのとりかた」、「危険なこと」などをヒナに学ばせています。

そんな中、私たち人間が「ヒナが落ちている」と助けてあげようとして捕まえてしまうのは「誘拐（ゆうかい）」と同じことです。親は近くにいます。

もし、しっかり飛べないヒナを見つけても捕まえずにそっとヒナを見守ってあげましょう。（万が一ヒナの近くに猫やカラス、または道路上にいる際は近くの安全な場所へ移動させてください。）



*** 福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお問い合わせください。**

※小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.fkotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2012年6月№324/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま